



生活に関する調査レポート2015 05 ～消費意欲について(ファッション・コスメ編)～

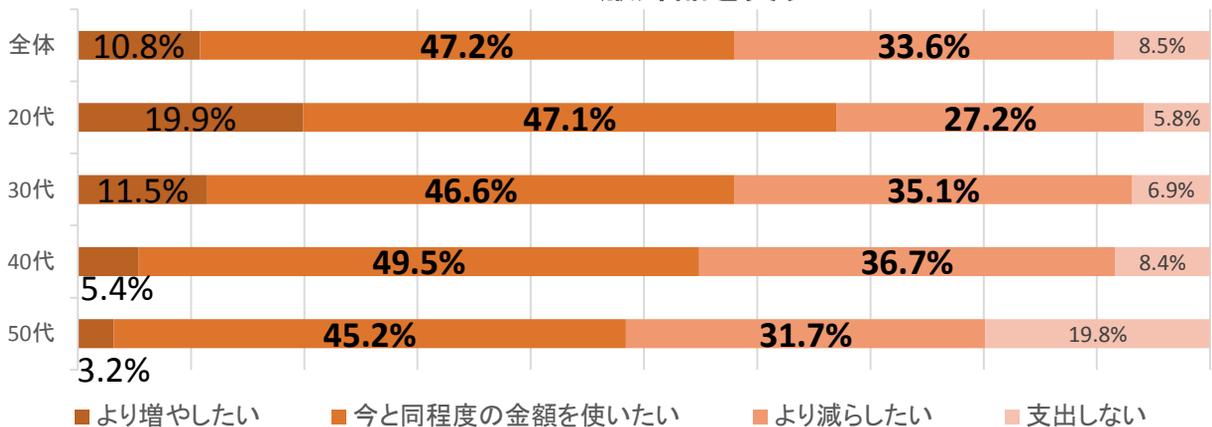
20～50代の女性1177名に調査した「生活に関する調査レポート2015」。第1回は「現在の幸福度」について、第2回は「消費の仕方の傾向」についてレポートをお届けしました。第3回からは「消費意欲」について項目別に調査結果を発表。第5回の今回は、女性たちが今現在「ファッション、コスメ」への消費についてどのように考えているのかについて発表いたします。

調査方法：インターネットによるアンケート、追加メール取材

調査対象：小学館の女性誌を読んだことのある全国の20～50代の女性1177名

Q下記の項目についての消費意欲を教えてください。

トレンドの服飾品を買う

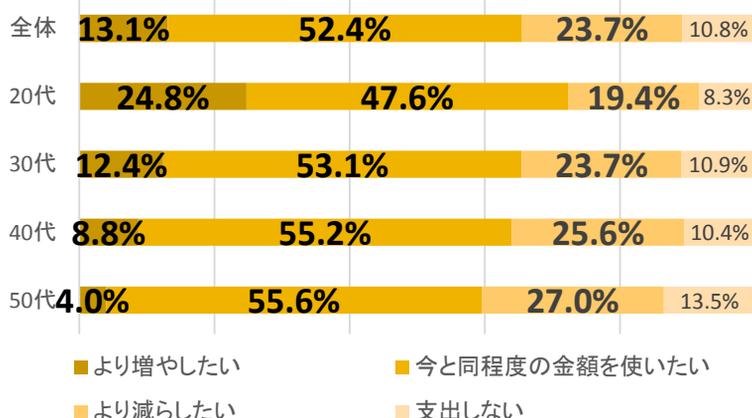


1/3程度の人が「トレンドの服飾品」への支出を減らしたい、その理由は…？

全体の33.6%の人が「トレンドの服飾品」への支出を「減らしたい」と考えていることが判明し、全世代通じて大きな変化はありませんでした。また「より増やしたい」人は20代が一番多く(19.9%)、世代が上がるにつれ減少。これについて、「服が売れない」とアパレル業界では言われていますが、今回の結果も全体的に衣服費を減らしたいということなのかどうか追加調査を実施しました。その結果、「トレンドに流されるのではなく、自分に似合った服を買いたい」という声が多数。全体で47.2%と半数近くの女性が「今と同程度の金額を使いたい」と回答していることから、「トレンド」への興味は「自分に似合うもの」へシフト傾向であるものの、服飾品購入への意欲が低下しているわけではないことがわかりました。



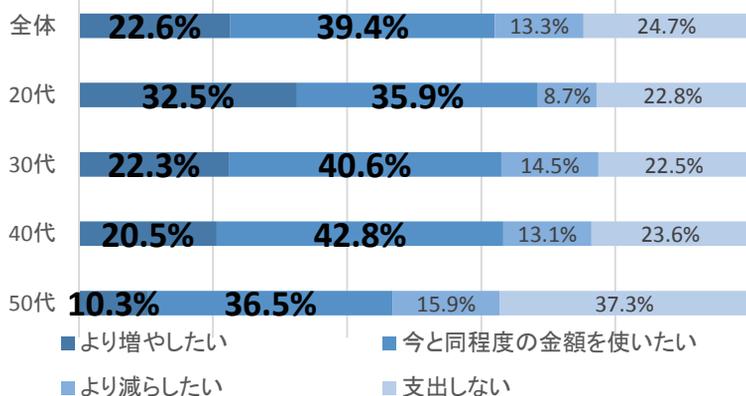
新作の化粧品を買う



新作コスメへの興味は高め

「トレンドの服飾品」に比べ「増やしたい」(13.1%)「今と同程度の金額を使いたい」(52.4%)と答えた人が多かった「新作化粧品」への消費。こちらも「減らしたい」と考えている人に追加ヒアリングを行ったところによると、ファッションと同様に「新作」や「新色」にこだわるのではなく、パーソナルカラーチェックを受けたり、サンプルをもらったりして、自分に合ったコスメを探したいという意見が多く聞かれ、化粧品への購入意欲は衰えていませんでした。

ジュエリーを買う



「一生もの」の価値観が再び上昇

「アクセサリ」ではなく「ジュエリー」(貴金属、宝石)に設定したにも関わらず、「より増やしたい」と答える人が50代以外のすべての世代で20%を超えました。「今と同程度の金額を使いたい」と思う人と合わせると60%を超えています。中でも32.5%の人が「増やしたい」と考えている20代については、トレンドのアクセサリはファストファッションショップなどで安く手にいれつつも、バブル世代を親に持つ人が多く、「いいもの」を知って育てていることも影響していると考えられます。

研究所まとめ

以前はファッションやメイクは雑誌や誰かが提案するトレンドをそのまま真似したり、取り入れたりという買い方が一般的でした。しかし今は、提案やトレンドに安易に乗るのではなく「自分に似合うものを見極めて買いたい」「一生使えるものを買いたい」という意識が浸透していることが、今回の調査でわかりました。これは、ファッションやメイクが「誰かに教えてもらわないとわからない、選べない」ものから「自分で情報を集め、考え、選べる」ものへと変化したと言えます。ビジネスとしては提案が難しくなりましたが、より自由にファッションやメイクを楽しめるような、カルチャーとしては成熟した時代に近づいているのではないのでしょうか。

調査結果に関するお問い合わせ

株式会社小学館 女性インサイト研究所 担当:安念

TEL: 03-3230-9774 E-mail: pr-islab@shogakukan.co.jp

<http://www.insightlab.jp/>